

## 平成 14 年度 第 4 回 理事会 抄録

日時：平成 14 年 10 月 19 日（土）P M 13:00 ~ 17:03

場所：（社）日本作業療法士協会 7 階 会議室

出席：杉原（会長）、佐藤（剛）、中村（春）（副会長）、  
荻原（事務局長）、富岡、長谷川、（監事）、香山、日  
垣、曳地、比留間、深川（常務理事）、岩瀬、大丸、  
片岡、長尾、山本（理事）、石塚、小林、東、松房、  
星、早川（宏）（部・委員長）、大嶋（士会連絡協議  
会長）

### 審議事項

1. **生涯教育システム（案）について**（小林教育部長）  
現行制度の問題点を見直し、生涯教育基礎コースと生涯教育専門コースを生涯教育制度の基本とする。基礎コースでは必須研修として新人教育プログラムとして 15 テーマ（2 年間程度を目指す）、改編 A コースとして身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害の 4 領域のうちより自分の専門領域を受講。自由選択として 50 ポイント取得。基礎コース終了後、生涯教育専門コースを受講。専門研修、認定研修、症例報告等。コース終了後認定作業療法士（××領域）として認定する。基礎コースの 50 ポイント取得を継続する問題、新人教育プログラム審査基準について等課題もある生涯教育システム資格審査委員会と連携を取りつつ、今後さらに詳細について検討を重ねて詰めていく。このシステムを大枠として了承した。 承認
2. **社会保険診療報酬改定に関する協会意見について**（東保険部長） 早期加算における A D L 加算の適応「リハビリテーション総合実施計画書」の見直し 18 単位制導入の影響への配慮 維持期対象者の取り扱い 厚生労働大臣が定める患者として実質必要な疾患 訪問リハの整備拡充の 6 点について意見を提出。文章を簡潔にし、読みやすい体裁に整えて三役会に提案した後、厚生労働大臣に提出する。 承認
3. **介護報酬見直しに関する協会意見について**（東保険部長） 居宅サービス 施設入所サービス 介護予防・健康づくり事業 身体拘束廃止に向けた取組の強化

痴呆性高齢者対策の5点について意見を提出する。福祉用具指定品目の見直し、医療機関入退院時における福祉用具貸与・購入等に対する配慮等について意見が出された。大枠について了承。承認

4. 役員選挙について（星選挙管理委員長、松房規約委員長）郵送投票を実施。日程として3/25公示、4/14立候補締切、5/24投票締切、会長選挙において有効投票の過半数に達した者がいない場合、6/14再投票締切。6/15開票とする。選挙人名簿は3月25日付会員。郵送投票実施に伴って定款施行規則第3章16,18,21,22,24条を改訂する。承認

5. 平成15年度主要目標について（中村（春）副会長）企画調整委員会よりの案を説明。新規事業として作業療法実践における事故防止マニュアルの作成 認定作業療法士制度の創設 作業療法教育連絡会の創設に向けての準備 新たな役員選挙方法の施行 役員任期の検討 保健福祉部の創設 作業療法の社会ニーズ調査の体制整備。意見を企画調整委員会に寄せてもらい、意見を集約した上で12月理事会において検討する。継続審議

6. 平成15年度予算概要について（石塚財務部長）平成15年度予算枠について説明。各部、各委員会で検討の上、12月理事会で討議する。継続審議

7. 都道府県連絡協議会の要望について（大嶋士会連絡協議会長）生涯教育システムに関しての役割の明確化、研修会開催について、双方向の情報の交換、臨床ですぐ使える技術講習会交流セミナーの開催等について12項目の要望、意見が述べられた。承認

8. その他（岩瀬理事）白書委員会について立ち上げ時期について検討する。承認

#### 報告事項

1. 養成校学生からの意見について（杉原会長）関東近県の2養成校の学生より、教員数の不足、授業内容の不備、暴言等々についての意見が寄せられた。両事案に

ついて県士会と話し合いを持った。1校については国の指導で10月に教員2名増員、年度末までに基準を満たす予定。もう1校については、先ず、県士会に現状の把握を依頼した。このような場合、士会と協会との連絡を密にし、双方の役割分担を確認しながら対処していく。

**2 . 教育部報告（全書ICF導入について）**教育部より書面報告。WHOによる国際障害分類がICIDHからICFに移行するのに伴い、記述を全体的に見直す必要はないが、全書のICIDHについての解説部分に補足説明を加える。

### **3 . その他**

（比留間理事）新障害者基計画骨子が検討されている（内容については内閣府のHPに掲載）。意見があれば10月29日までに事務局へ出してほしい。支援費制度の特別セミナーが10月～11月に開催される。

（香山理事）社会福祉医療事業団の15年度助成金事業申請に事業部と痴呆に対する作業療法検討委員会で検討の結果、痴呆の家族と介護者支援事業を申請。今後ヒヤリングが行われる。